

保険薬局 薬剤師の先生方へ

吸入チェックリストを用いた病診薬連携吸入支援について

【目的】

当院では退院後の吸入指導や服薬意義の教育のため、入院・在宅間での吸入管理方法が主治医・保険薬局・病棟スタッフで共有できるツールとして吸入チェックリストを作成し、退院後も入院時と同様の吸入薬剤手技の評価を行うことで、治療効率の向上を目指したいと考えています。

【方法】

別紙：気管支喘息・COPDにおける吸入薬連携のための吸入薬チェックリスト運用について《保険薬局用案》をご参照ください。

《手技・アドヒアランス不良の例》

入院患者さんに対し、病棟薬剤師がアドヒアランスの確認においてどのような点に注意しているか下記にまとめました。

- ①.アドヒアランス良好だが、手技に問題あり（自己流／吸入力の低下）。
- ②.手技は良好だがアドヒアランスに問題あり（忘れる／病識が低い）。
- ③.手技・アドヒアランスともに問題あり（理解力低下／自己管理困難）。
- ④.ドロップアウトしている（副作用の不安／治ったと思い込む／薬価の負担）。
- ⑤.デバイスの管理の問題（目詰まり／吸入残数0のまま使い続ける）
- ⑥.生活リズムと吸入の用法が合わない（例：昼に起きる患者さんに朝夕の吸入）

※現デバイスの継続が困難であれば、継続出来そうなデバイスを提案する。その際、可能であれば、患者さん本人とともにデバイスを検討する。

気管支喘息・COPDにおける吸入薬連携のための 吸入薬チェックリスト運用について 《保険薬局用》

外来

【外来診察・処方】

医師の指導依頼：オーダー時、医師により処方箋に吸入指導依頼のコメントを入力します。

※患者さんの希望により指導した場合にコメントが入っていない場合は、
その旨を DI 室へ FAX でお知らせください。



【保険薬局での吸入指導】

- ① 当院 HP の該当デバイスのチェックリストを使用し、指導を行ってください。

＜チェックリストの場所＞

（北信総合病院 HP⇒病院について⇒部門一覧⇒薬剤部⇒地域薬剤師の皆様へ⇒吸入連携フローチャート）

- ② アドヒアランス、継続の可否について評価してください。

（問題あり/継続不可・継続困難）

（問題なし/継続可能・注意しながら継続可能）

・指導に用いたチェックリスト用紙は、各保険薬局で保管してください。

※吸入指導加算を算定する場合は DI 室へチェックリストを FAX してください。

・お薬手帳に、指導日、コメント等を記載してください。

例) 2020/07/02 吸入手技確認 評価：問題なし。このまま継続していただくよう指導。



＜継続不可・困難な場合＞

今後の継続が困難と考えられる場合、チェックリストに内容を記載し DI 室に FAX してください。

次回診察時に主治医が確認できるように対応します。

入院

- ①入院時：外来での吸入状況確認のため、吸入指導薬局に、病棟薬剤師から直近のチェックリストを DI 室へ Fax していただくよう依頼します。

- ② 退院時：入院中の吸入指導は病棟薬剤師が同様のチェックリストを用いて行います。指導に用いたチェックリストは、退院時に指導薬局へ薬剤管理サマリーの別紙として FAX します。

北信総合病院 DI 室 連絡先

・ DI 室 FAX 番号：0269-23-2792